

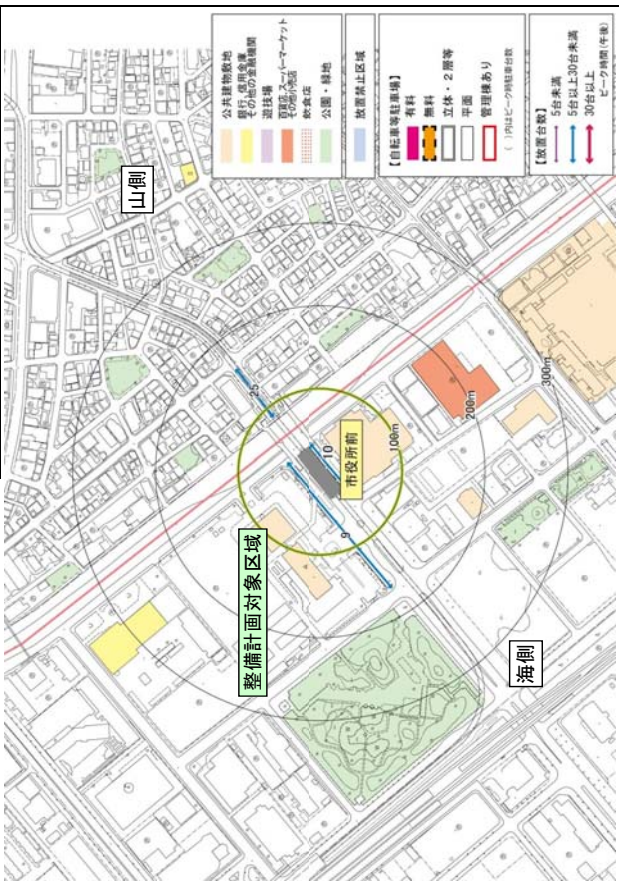
市役所前駅

【概況】

市役所前駅は、1日平均乗車人員は約1,900人、自転車等の乗入台数は44台である。
なお、駐輪場は整備されていない。

駐車台数・放置台数	ピーク時乗入台数		収容台数	
	全体	駐車	放置	台数
	計	44	0	44
自転車	43	0	43	0
原付	1	0	1	0

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,922人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

市役所前駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は44台と推計している。また、駐輪場整備とともに有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を23台と推計する。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.00	1.00	1.00

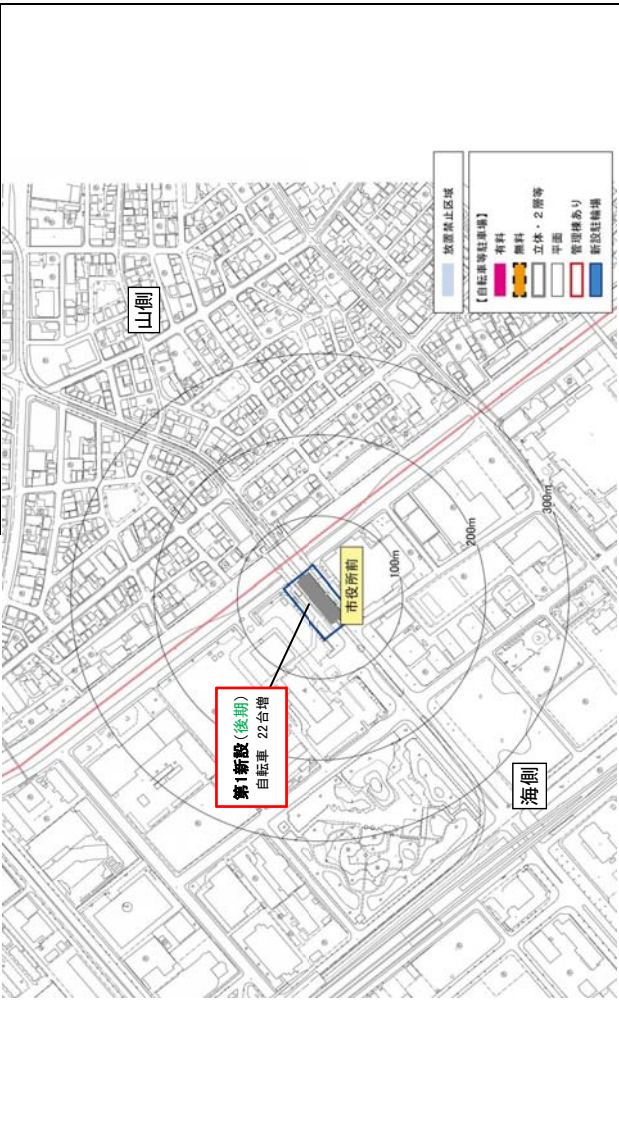
無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
駅全体では、駐輪場がなく、収容台数が不足することから、第1駐輪場の新設を検討する。第1駐輪場は路上の駐輪場整備となることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図

整備計画図	乗入台数		伸び率		有料化後の台数		推計台数		収容台数	
	全体	計	伸び率	伸び率	有料化	補正	台数	台数	台数	不足
	計	44	—	—	44	0	23	0	23	23
自転車	43	43	1.00	43	0.51	0	22	0	22	22
原付	1	1	1.00	1	0.51	1	0	0	1	1



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数	一時利用	整備時期	主体
	第1	新設 路上P	現況(内原付) 22 (0) 整備(内原付) 22 (0) 計(内原付) 22 (0)	現況(内原付) 0 (0) 整備(内原付) 0 (0) 計(内原付) 0 (0)	後期	市
計			0 (0) 22 (0) 22 (0)	0 (0) 0 (0) 0 (0)		市

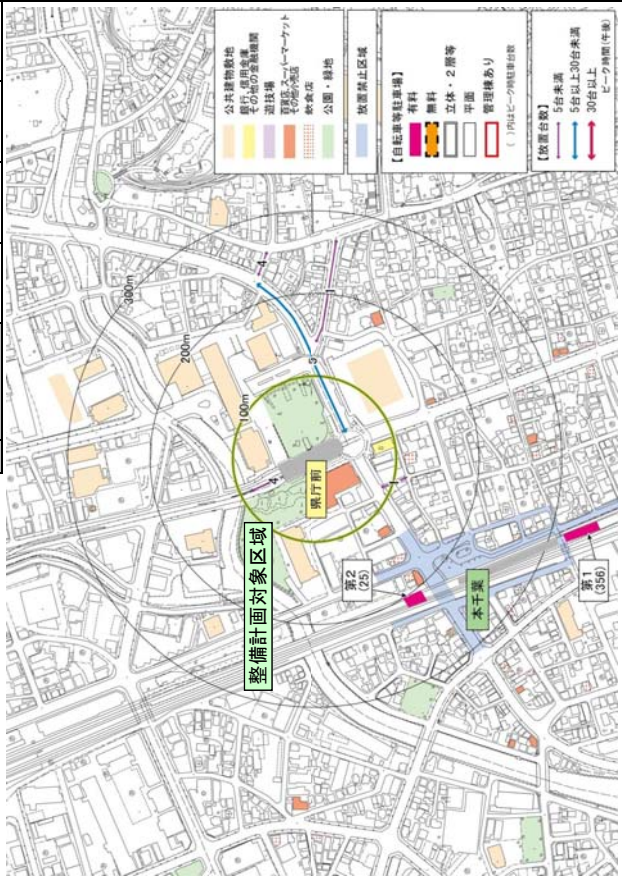
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

県庁前駅は、1日平均乗車人員は約850人、自転車等の乗入台数は15台である。
なお、駐輪場は整備されていない。

駐車台数・放置台数	全体		ピーク時乗入台数		収容 台数
	計		自転車	放置	
	自転車	原付	0	0	0

図はピーク時の台数を示している。



◆参考データ

駅利用 状況	1日平均乗車人員(H25)
849人/日	
(H26千葉市統計書)	

【需要推計】

県庁前駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は15台と推計している。また、駐輪場整備とともに有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を8台と推計する。

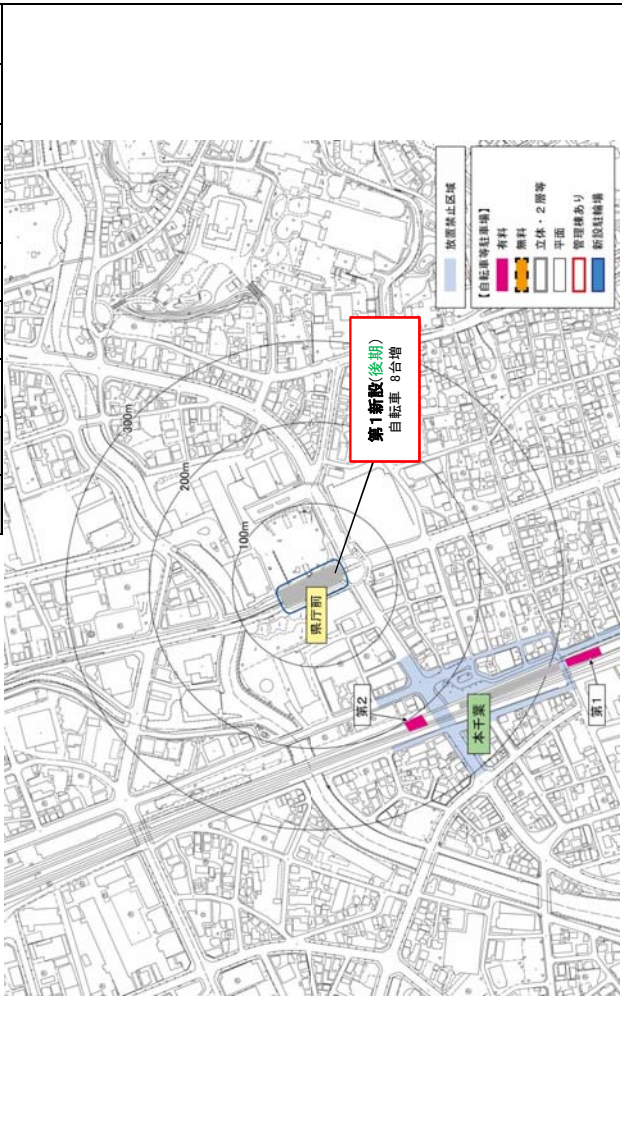
計画期間(H33)の 伸び率	全体	自転車	原付
1.00	1.00	1.00	

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
51%		51%

【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
駅全体では、駐輪場がなく、収容台数が不足することから、第1駐輪場の新設を検討する。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図		全体		乗入 台数		伸び率 の台数		有料化 補正		推計 台数		収容 台数		不足	
計		15		15		—		—		8		0		8	
自転車		15		15		1.00		0.51		8		0		8	
原付		0		0		1.00		0.51		0		0		0	



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数			内一時利用		整備		主体			
			現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	時期	用地				
第1	新設路上P		8	(0)	8	(0)	0	(0)	0	(0)	市	市	運営
			0	(0)	8	(0)	0	(0)	後期				
	駅計												

※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者

※整備時期欄 前期:H28～30 後期:H31～33

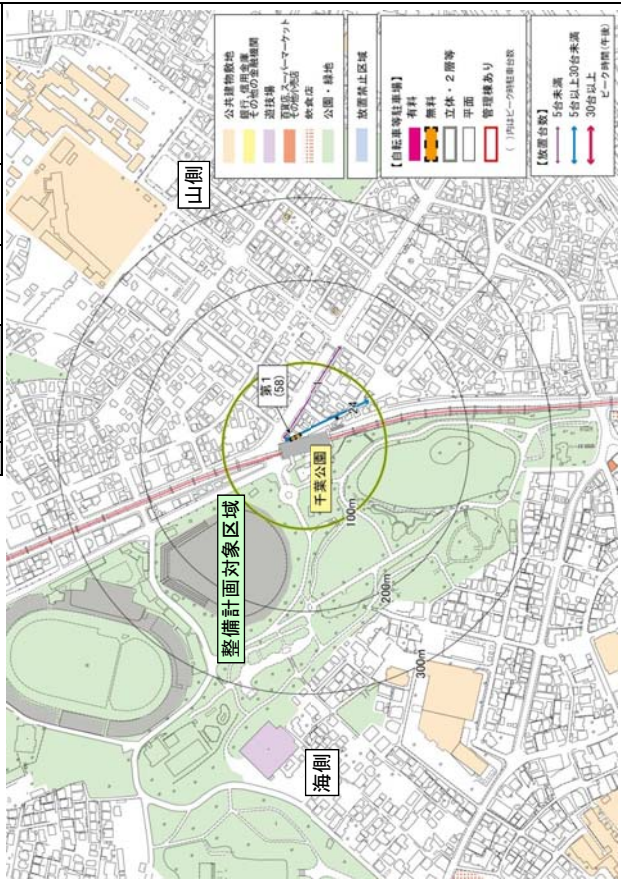
千葉公園駅

【現況】

千葉公園駅は、1日平均乗車人員は約800人、自転車等の乗入台数は83台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は50台となっている。
なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数	ピーク時乗入台数		収容台数
	全体	駐車	
	計	83	50
	自転車	72	50
	原付	11	0

図はピーク時の台数を示している。



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	774人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

千葉公園駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は83台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を43台と推計する。現在、収容台数は50台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.00	1.00	1.00

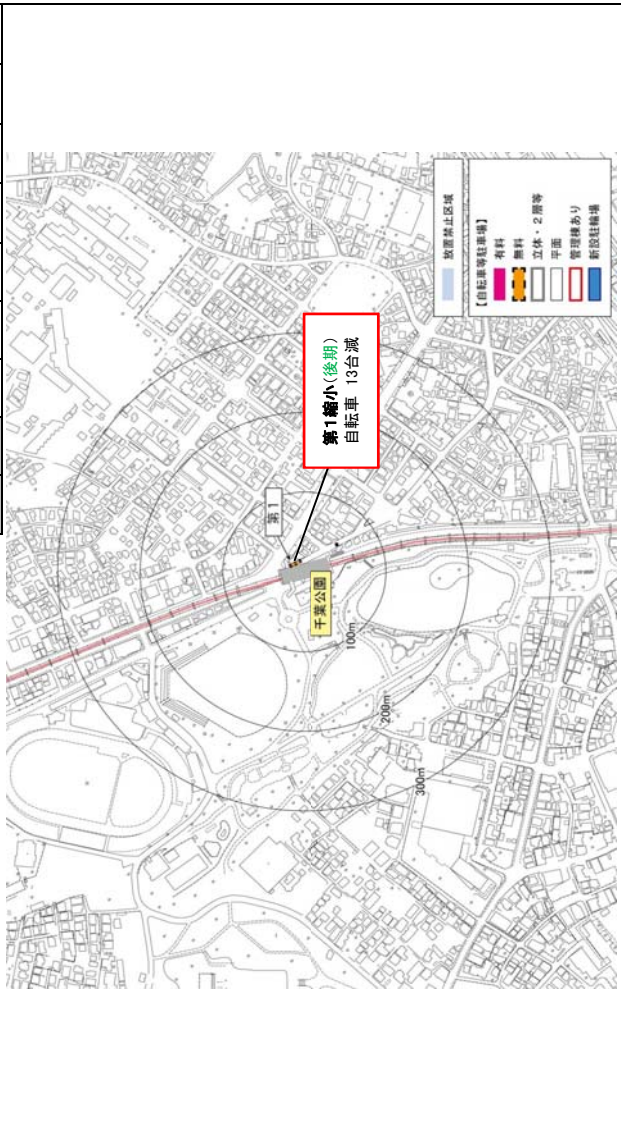
無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
駅全体では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の縮小を検討する。駐輪場の縮小にあたっては、路上の駐輪場であることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、既存駐輪場では、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図

整備計画図									
	全体		乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	有料化 補正	推計 台数	収容 台数	不足 台数
	計	83							
		自転車	72	1.00	72	0.51	37	50	-
		原付	11	1.00	11	0.51	6	0	6



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数		一時利用		整備時期	主体
			現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)		
			50(0)	-13(0)	37(0)	0(0)	後期	市
	第1	縮小	50(0)	-13(0)	37(0)	0(0)	後期	市
	計		50(0)	-13(0)	37(0)	0(0)	後期	市

※主体欄 市:千葉市, JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H28~30 後期:H31~33

作草部駅

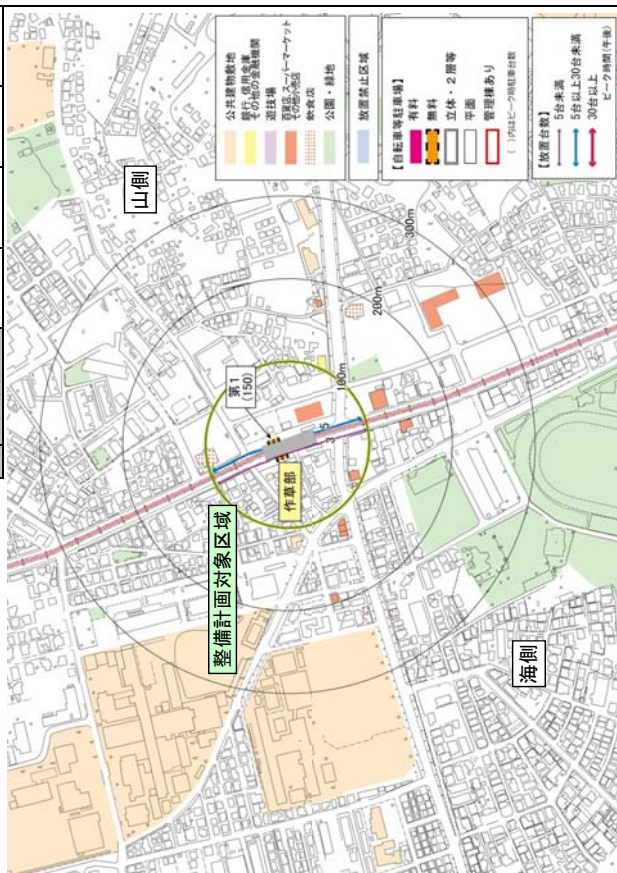
【現況】

作草部駅は、1日平均乗車人員は約1,800人、自転車等の乗入台数は158台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は140台となっている。
なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数	全体		ピーク時乗入台数		収容台数
	計	自転車	駐車		
			計	放置	
測定日:平成27年6月2日	158	150	8	140	
図はピーク時の台数を示している。	156	148	8	140	
	2	2	0	0	
	原付				

測定日：平成27年6月2日

図はピーク時の台数を示している。



海側	山側	乗入台数		収容台数	
		駐車	放置	駐車	放置
		計	自転車	計	自転車
53	105	50	3	47	93
52	104	49	3	47	93
1	1	1	0	0	0
原付	原付				

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,790人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

作草部駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は158台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数が減少されることから、乗入推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を82台と推計する。現在、収容台数は140台を確保していることから充足している。

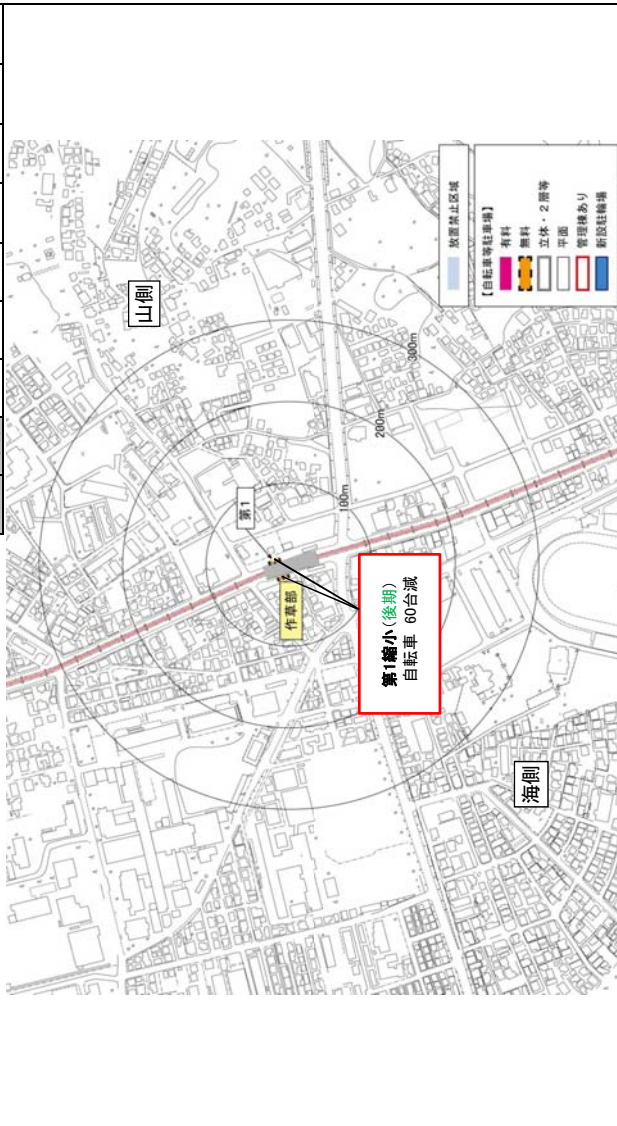
計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	原付	山側	原付	自転車	原付
		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。第1駐輪場の縮小にあたっては、路上駐輪場であることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図									
全体		乗入台数	伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数	
計		158	—	158	—	82	140	—	
自転車		156	1.00	156	0.51	80	140	—	
原付		2	1.00	2	0.51	2	0	2	



海側	山側	乗入台数		伸び率	伸び後の台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
		計	自転車						
		53	52	1.00	53	0.51	28	47	—
52	104	52	104	1.00	104	0.51	27	93	—
1	1	1	1	1.00	1	0.51	1	0	1
原付	原付								

整備内容	駅口	駐輪場	整備手法	台数		計(内原付)	現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	一時利用	整備	用地	主体
				第1	縮小								
				47	(0)	-20	(0)	27	(0)	0	(0)	後期	市
	計			47	(0)	-20	(0)	27	(0)	0	(0)		
	山側	第1	縮小	93	(0)	-40	(0)	53	(0)	0	(0)	後期	市
	計			93	(0)	-40	(0)	53	(0)	0	(0)		
	駅計			140	(0)	-60	(0)	80	(0)	0	(0)		

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本、京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者

※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

天台駅

【現況】

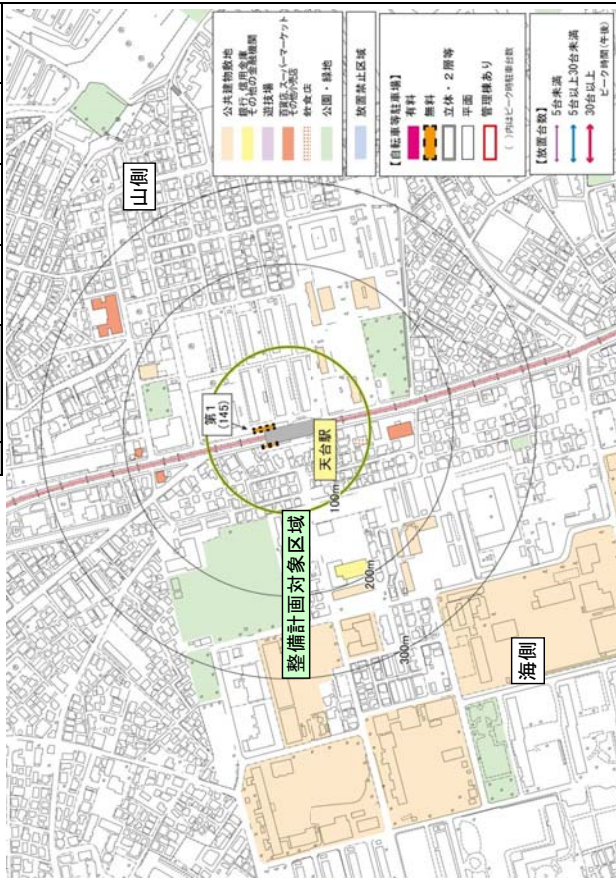
天台駅は、1日平均乗車人員は約1,800人、自転車等の乗入台数は145台である。
駐輪場は、1箇所設置しており、収容台数は216台となっている。
なお、駐輪場は、無料となっている。

駐車台数・放置台数	ピーク時乗入台数				収容 台数
	全体			放置	
		駐車			
		計	145		
	自駐車	144	144	0	
	原付	1	1	0	

測定日:平成27年6月2日

図はピーク時の台数を示している。

図はピーク時の台数を示している。



海側	乗入台数	駐車		乗入台数	駐車		収容台数
		計	自転車		計	自転車	
		73	0	72	0	0	108
計	72	72	0	72	0	0	108
自転車	72	72	0	72	0	0	108
原付	1	1	0	0	0	0	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,769人/日
	(H26千葉市統計書)

【需要推計】

天台駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は145台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を75台と推計する。現在、収容台数は216台を確保していることから充足している。

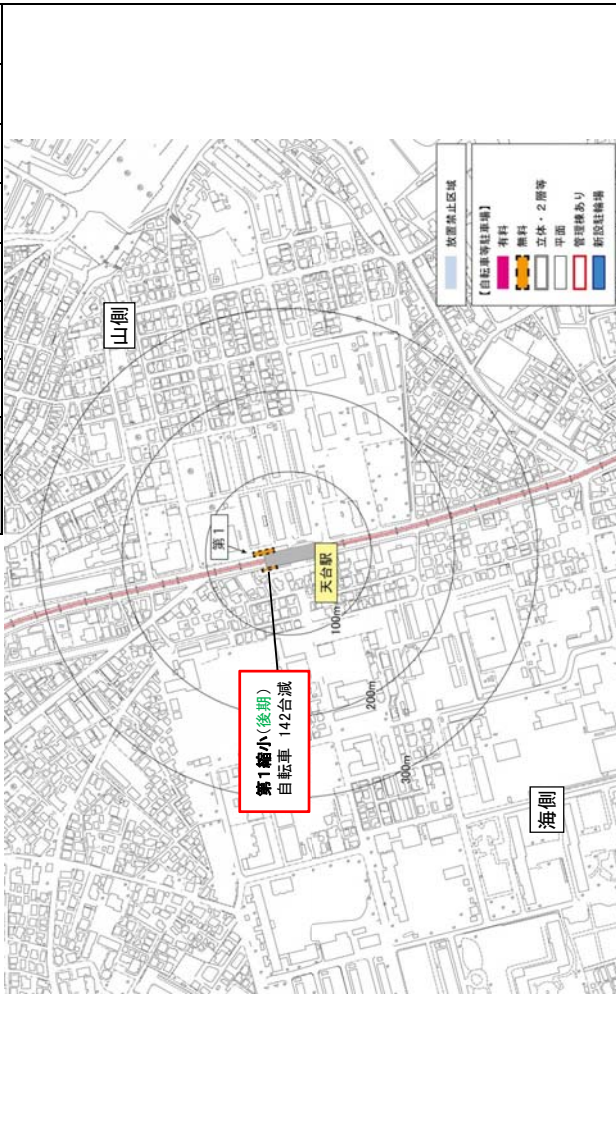
計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	原付	山側	原付	自転車	原付
	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

【整備計画】

受益者負担金の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。第1駐輪場の縮小にあたっては、路上駐輪場であることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、既存駐輪場では、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図	全体		乗入 台数	伸び率	伸び後 の台数	有料化 補正		推計 台数	収容 台数	不足 台数
	計									
			145	—	145	—	75	216	—	
		144	1.00	144	0.51	74	216	—		
		1	1.00	1	0.51	1	0	1		



海側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	有料化 補正		推計 台数	収容 台数	不足 台数
				—	—			
				73	38			
計	72	1.00	72	0.51	37	108	—	
自転車	72	1.00	72	0.51	37	108	—	
原付	1	1.00	1	0.51	0	1	0	

山側	乗入 台数	伸び率	伸び後の 台数	有料化 補正		推計 台数	収容 台数	不足 台数
				—	—			
				72 <td>72</td>	72			
計	72	1.00	72	0.51	37	108	—	
自転車	72	1.00	72	0.51	37	108	—	
原付	0	1.00	0	0.51	0	0	—	

◆整備内容

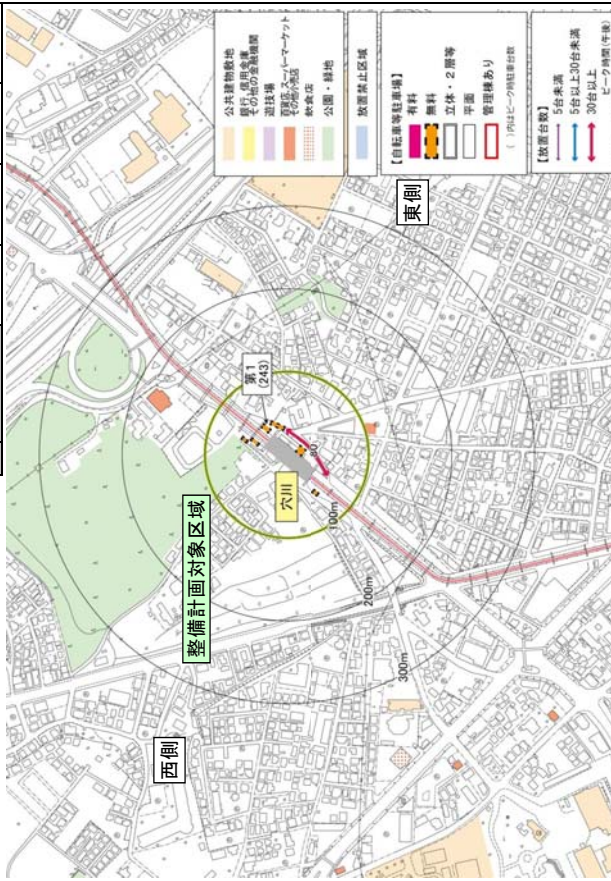
駅口	駐輪場	整備手法	台数			内一時利用			整備時期	主体	
			現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	用地		整備	
海側	第1	縮小	108 (0)	-71 (0)	37 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	
	計		108 (0)	-71 (0)	37 (0)	0 (0)	0 (0)				
山側	第1	縮小	108 (0)	-71 (0)	37 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	
	計		108 (0)	-71 (0)	37 (0)	0 (0)	0 (0)				
駅計			216 (0)	-142 (0)	74 (0)	0 (0)	0 (0)				

※主体欄 市:千葉市, JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H28~30 後期:H31~33

穴川駅は、1日平均乗車人員は約1,600人、自転車等の乗入台数は323台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は243台となっている。
なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数	全体			ピーク時乗入台数		収容台数
				駐車	放置	
	計	自転車	原付	323	243	
	計	自転車	原付	304	237	243
				19	6	13
						0

図はピーク時の台数を示している。



西側	乗入 台数	駐車		乗入 台数	駐車		収容 台数	
		放置	収容		放置	収容		
計	151	151	0	151	172	92	80	92
自転車	148	148	0	151	156	89	67	92
原付	3	3	0	0	16	3	13	0

東側	乗入 台数	駐車		乗入 台数	駐車		収容 台数	
		放置	収容		放置	収容		
計								
自転車								
原付								

◆参考データ

駅利用 状況	1日平均乗車人員(H25)
	1,563人/日

(H26千葉市統計書)

参考データ	駅利用状況		1日平均乗車人員(H25)	
			1,563人/日	
			(H26千葉市統計書)	

【需要推計】

穴川駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は321台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を164台と推計する。現在、収容台数は243台を確保していることから充足している。

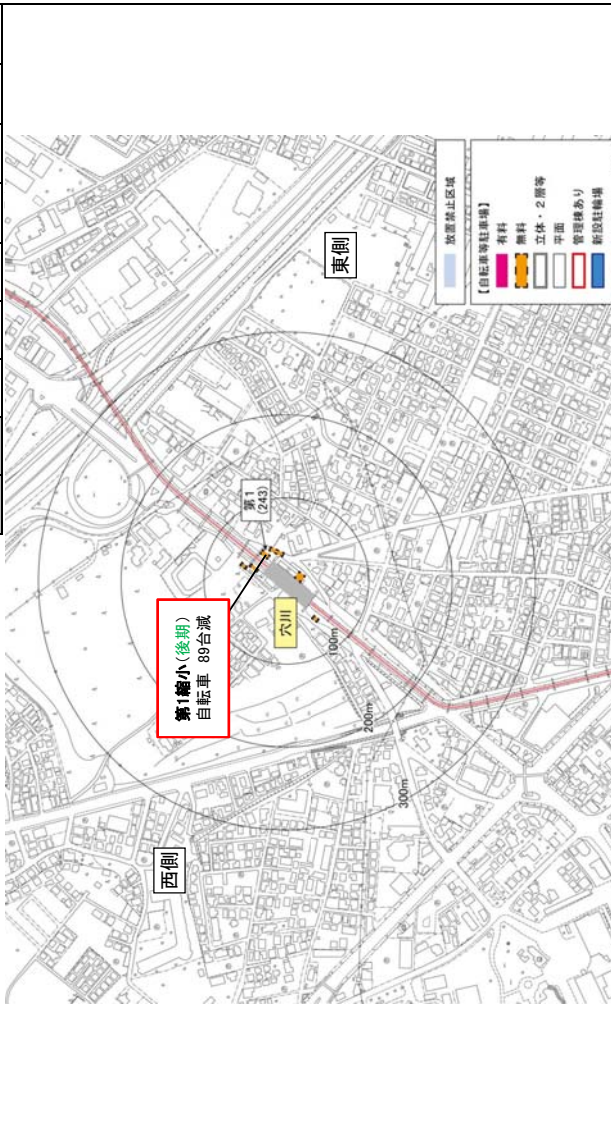
計画期間(H33)の伸び率	全体				西側				東側				原付			
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	1.00	0.99	0.99

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合		原付	
51%	自転車	51%	原付

【整備計画】

受益者負担の原則に基づき、有料化を検討する。また、有料化の時期に合わせて放置禁止区域を指定する。
西側及び東側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。第1駐輪場の縮小にあたっては、路上駐輪場であることから、原付の受入れは行わない。
なお、有料化に伴い、ラック、転倒防止柵、利用案内看板等の駐輪設備の整備が必要である。

整備計画図	全体			乗入台数	伸び率	伸び後の必要台数	新規推計台数	収容台数	不足台数
	計	自転車	原付						
	323	304	19	323	—	321	—	243	—
	計	自転車	原付	304	0.99	302	0.51	243	—
				19	1.00	19	0.51	0	10



西側	乗入台数	伸び率	伸び後の必要台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数	乗入台数	伸び率	伸び後の必要台数	有料化補正	推計台数	収容台数	不足台数
	151	—	151	—	77	151	—	172	—	170	—	87	92	—
	自転車	148	1.00	148	0.51	75	—	156	0.99	154	0.51	79	92	—
	原付	3	1.00	3	0.51	2	0	16	0.99	16	0.51	8	0	8

整備内容	駅口	駐輪場	整備手法	台数				内一時利用				整備				主体			
				現状(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	計画(内原付)	計画(内原付)	計画(内原付)	後期	後期	後期	後期	用地	整備	整備	運営
	西側	第1	縮小	151 (0)	-76 (0)	75 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	後期	後期	後期	市	市	市	市
	東側	第1	縮小	151 (0)	-76 (0)	75 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	後期	後期	後期	市	市	市	市
	計			92 (0)	-13 (0)	79 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	後期	後期	後期	市	市	市	市
	計			92 (0)	-13 (0)	79 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	後期	後期	後期	市	市	市	市
	計			243 (0)	-89 (0)	154 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	後期	後期	後期	市	市	市	市

※主体欄 市:千葉市, JR:JR東日本, 京成:京成電鉄, モノ:千葉都市モノレール 民:個人または民間事業者
※整備時期欄 前期:H28~30 後期:H31~33